

## 第28回 教育学部におけるeラーニング事例の紹介

- 全学のeラーニング展開
- 教育学部におけるeラーニング導入=2つのGP
  - 平成17年度 大学・大学院における教員養成推進プログラム「不登校の改善・解決に資する教育力の養成」
    - 対象が不明確, eラーニングはおまけ? (コンテンツ外注)
  - 平成18年度 現代的教育ニーズ取組支援プログラム「el (エル) ころ学習プログラムの開発」
    - eラーニングのGP, 非同期コンテンツの開発 (内製), flashによる個別学習ソフト, VODによる授業ガイダンスビデオ, リモートロールプレイ
- 底辺からのeラーニング導入
  - 木材加工実習へのブレンデッド型ラーニング (H21.4~)
    - 実習時間の確保, 事前課題や振り返りをeラーニングで.



# 熊大のeラーニング展開


- 1999年4月: **SOSEKI** (学務情報システム:SIS) 運用開始
- 2002年度: 総合情報基盤センター(改組), 計算機援用教育研究部門設置
- 2002年度: 地域貢献特別支援事業「熊本大学LINK構想」~  
→e-Learning station(2003)
- 2003年3月: WebCT導入(Internet Navigware, WebClass)
- 2003年度: 特色GP「IT環境を用いた自立学習支援システム」~  
→SOSEKI
- 2004年度: WebCTに全学全ての科目が登録される
- 2004年度: 熊本大学地域貢献特別支援事業の一環「e-Learning Station」
- 2004年度: 特色GP「学習と社会に扉を開く全学共通情報基礎教育」~  
→LMSの積極的活用(学習と確認の連鎖)
- 2006年度: GSIS開設
- 2007年度: eラーニング推進機構設置
- 2009年6月?: Moodleに全学全ての科目が登録される

ベネッセ(2002) 独自の学務情報システムにより学びの空間をキャンパスに実現, VIEW21, 10月号,  
<http://benesse.jp/berd/center/open/kou/view21/2002/main10.html>



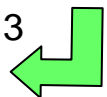


# 教育学部のLMS

- 全部Moodle 
  - 3台のLMSサーバー稼働
    - GP用2台
    - 学科用1台
    - SSO対応



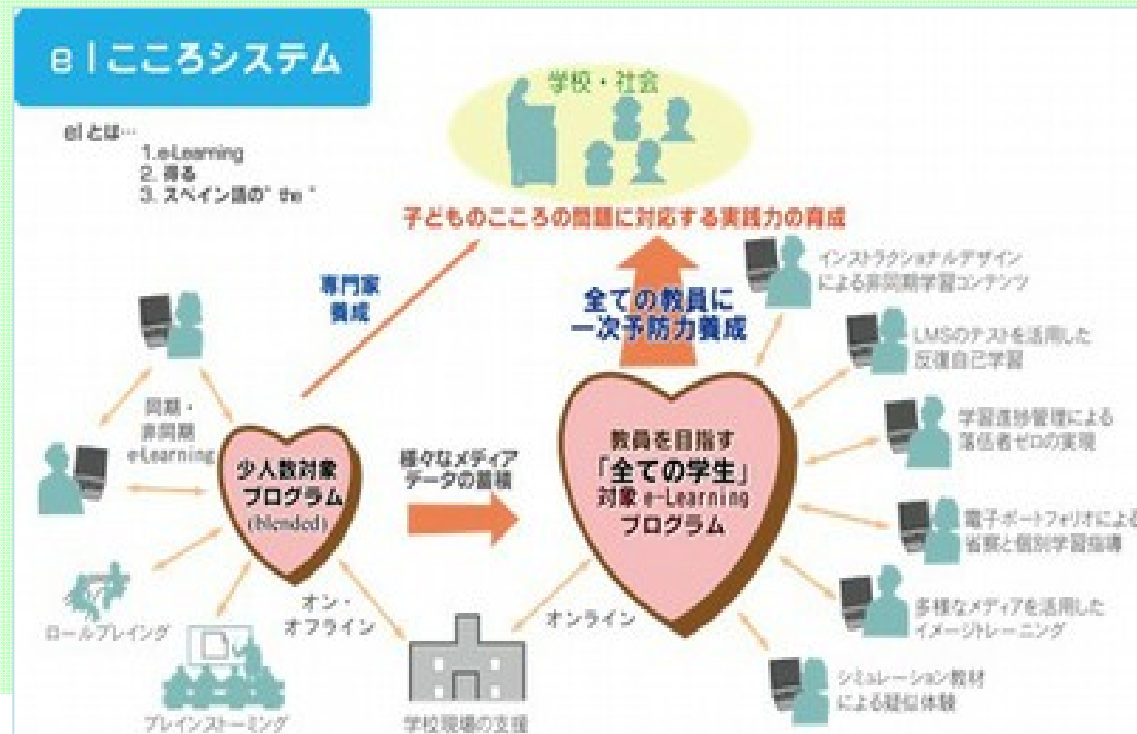
教育学部機械室



# eI (エル)こころ学習プログラムの開発

目的: 教員を目指す全ての学生に「心の健康に関する一次予防力」を修得させる

- 非同期コンテンツ
- 科目ガイダンス
- 個別学習ソフト
- ロールプレイ動画

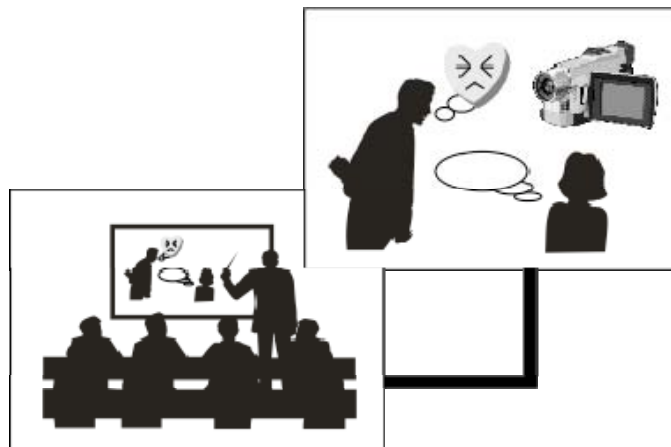


©2009 A.Nishimoto

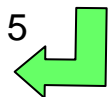


# リモートロールプレイ

- クラスメイトのプレッシャーを受けない、ロールプレイをしない学生も学びが得られる
- 他の学生からのフィードバックを得られる、よりリアルな状況でロールプレイが可能
- リアルタイムに視聴、即プレイバック可能



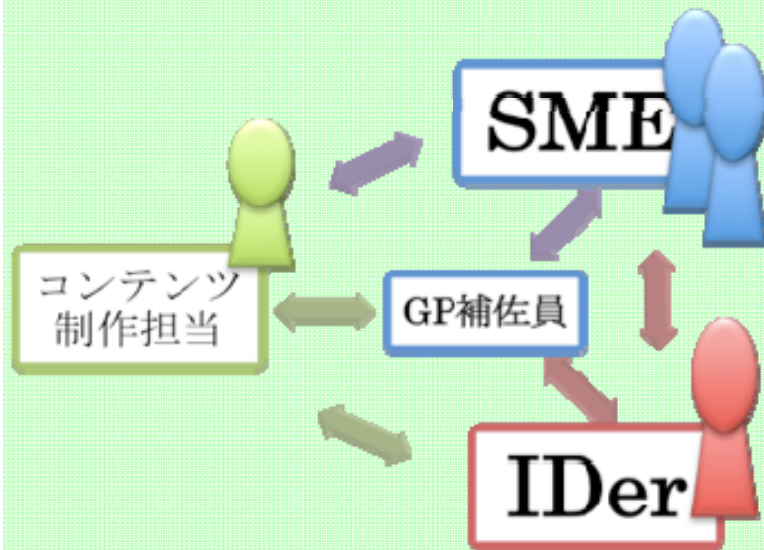
講義室と演習室を専用回線で接続





# コンテンツの例

- 非同期型コンテンツ
  - Moodleのレッスンモジュール
  - 小クイズ
  - 事後テスト



コンテンツ開発体制

©2009 A.Nishimoto

eラーニング推進機構 eラーニング授業  
ランチョンセミナー

学習目標の提示：全体目標・章目標

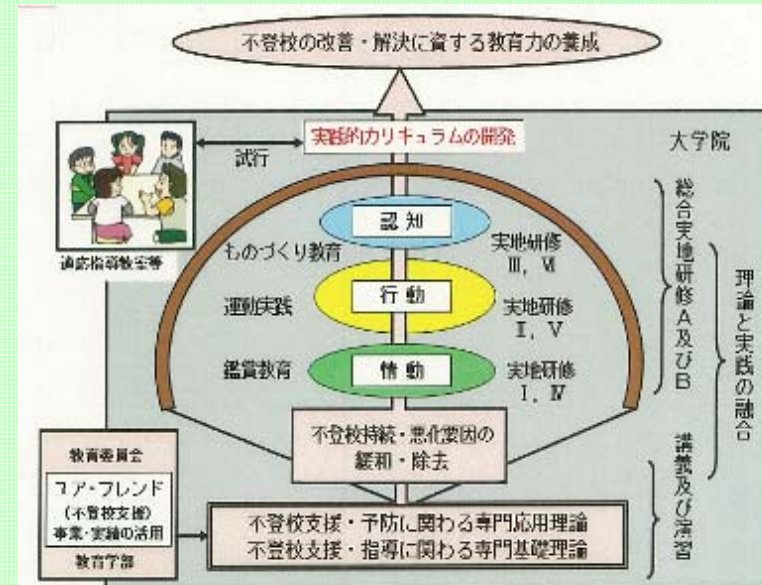
教材内容の提示：チャック毎に

クイズによる確認：正解するまで

事後テスト：制限時間あり

# 不登校の改善・解決に資する教育力の養成

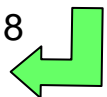
- 大学院生を対象
- ものづくり教育・鑑賞教育・運動実践の3つのアプローチ
- eラーニングコンテンツ
  - PPT, ビデオ
  - 鑑賞教育 絵をみながらチャット感想を書き込む
  - 対象が誰かわかりにくい
    - 大学院生？
    - 児童生徒？
    - 適応指導教室の先生？





## 木材加工実習＋ブレンデッド型

- 「木材加工実習の効果・効率・魅力を高めるためブレンデッド型ラーニングにより事前事後の時間を活用することで実習時間を確保し効果的な授業改善を行う取り組み
  - 実習における授業以外の時間は軽視されている？ [大学設置基準第21条](#)
  - 有意義な実習を行うためには授業以外の時間（予習・復習ではないが・・・）の活用が必要



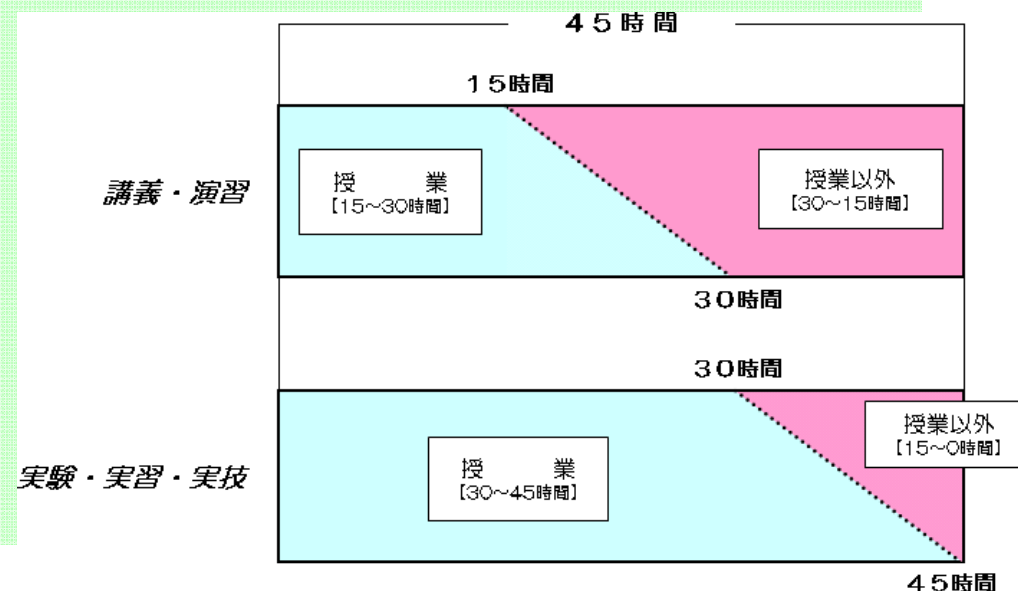


# 単位

大学設置基準(昭和三十一年十月二十二日文部省令第二十八号)(単位)

第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 一 講義及び演習については、十五時間から三十時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。
- 二 実験、実習及び実技については、三十時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。



# 教育学部におけるWebCTの活用

- 教育学部 09年度前期におけるWebCTにアップロードされているデータ量
  - 教員A: 3.5MB + 17.2MB
  - 教員B: 8.2MB
  - 教員C: 4.9MB + 3.6MB + 1.4MB
  - 教員D: 0.1MB + 0.4MB

神からのデータ

